

【乳がん・子宮頸がん検診】医療機関検診の受け付け開始

☎保健センター ☎85-6900

■乳がん・子宮頸がん検診 共通事項

受診券申込期間 令和6年2月29日(木)まで

申込方法 ▶保健センターへ電話

▶市ホームページから

検診の実施期間 受診券交付日から6年3月31日(日)

▶生活保護受給者は「生活保護受給証明書」の提示で無料です ▶受診日時点で市内に住民票がない方、年度内(4月1日～6年3月31日)に重複受診した方は、自己負担金を含め実費を支払う必要があります



乳がん医療機関検診
申し込みフォーム



子宮頸がん市外医療機関
検診申し込みフォーム

乳がん検診 市内・市外

乳がん医療機関検診を実施します。希望する場合は、期間内に申し込みが必要です。昨年度医療機関検診を受診した方には、4月下旬に受診券を送付しています。41歳の女性には、5月下旬に無料クーポンを送付します。

■年齢によって検査内容が変わります

5年度から、年齢によって受ける検診の検査内容が変わりました。

検査内容 マンモグラフィ 1方向(乳房X線検査)・マンモグラフィ 2方向・エコー(超音波)

検査内容	対象となる女性 (年齢は6年3月31日時点)	自己負担金	
		国保・後期	国保・後期以外
マンモ1方向	50歳以上で偶数年齢	500円	1,000円
マンモ2方向	40・42・44・46・48歳	500円	1,600円
マンモ2方向 (無料クーポン)	41歳	無料	無料
エコー	●30～39歳 ●43～69歳で奇数年齢	500円	1,000円

【5年度経過措置】

5年度のみ経過措置を実施します。(年齢は6年3月31日時点)

▶5年度経過措置で、マンモグラフィ検査の対象となる女性

43歳以上の奇数年齢で、4年度にマンモグラフィ検査を受けていない方

▶5年度経過措置で、エコー検査の対象となる女性

70歳以上の奇数年齢で、4年度にマンモグラフィ検査を受けている方

子宮頸がん検診 市外

子宮頸がん市外医療機関検診を実施します。希望する場合は、期間内に申し込みが必要です。昨年度医療機関検診を受診した方には、4月下旬に受診券を送付しています。21歳の女性には、5月下旬に無料クーポンを送付します。

対象となる女性 (年齢は6年3月31日時点)	自己負担金	
	国保・後期	国保・後期以外
20歳以上	500円	2,000円

■市内医療機関検診を希望する場合 市内

受診券は必要ありません。直接医療機関に電話で申し込んでください。

【対象の医療機関】

- 秋田医院(☎83-0341)
- かんの産婦人科クリニック(☎83-0321)
- 染川ウィメンズクリニック(☎79-4250)
- JAとりで総合医療センター(☎74-5551)

■実施医療機関 ★…子宮頸がん検診と同時受診可

対象の医療機関		マンモ 1方向	マンモ 2方向	エコー
取手市	取手北相馬保健医療センター医師会病院	○	○	○
	JAとりで総合医療センター	—	—	○
龍ヶ崎市	牛尾病院(予約不要。木曜日のみ予約制)	○	○	○
	★龍ヶ崎済生会総合健診センター	○	○	○
守谷市	守谷慶友病院	○	○	○
	総合守谷第一病院	○	○	○
牛久市	★セントラル総合クリニック	○	○	○
つくば市	★筑波メディカルセンターつくば総合健診センター	○	○	○
	★つくば国際プレストクリニック	○	○	○

【注意事項】 次のいずれかに該当する方は、乳がん検診を受診できません。

- 妊娠中やその可能性がある
- 現在、乳房疾患で治療中または経過観察中
- 豊胸手術をした
- ペースメーカーを使用中

授乳中の方や、卒乳後6カ月以内の方は、保健センターまでご相談ください。

■乳がん検診を受けましょう

乳がんは、日本女性の死亡原因の上位に位置するがんです。乳がん検診として推奨されるのは、乳がんの死亡率を減少させることが科学的に認められているマンモグラフィ検査です。40歳になったら2年に1回はマンモグラフィ検査を受けましょう。

早期の乳がんは、マンモグラフィ検査やエコー検査などの画像診断でないと発見できません。早期発見のため、乳がん検診を受けましょう。

■実施医療機関 ★…乳がん検診と同時受診可

対象の医療機関	
龍ヶ崎市	野村医院
	鴻巣クリニック
	いがらしクリニック
	★龍ヶ崎済生会総合健診センター
牛久市	牛久愛和総合病院
	椎名産婦人科
	はなみずきクリニック
	★セントラル総合クリニック
守谷市	お産の森いのちのもり産婦人科篠崎医院
	総合守谷第一病院
つくば市	庄司クリニック
	前島レディースクリニック
	筑波総合クリニック
	★筑波メディカルセンターつくば総合健診センター
	★つくば国際プレストクリニック

【注意事項】 次のいずれかに該当する方は、子宮頸がん検診を受診できません。

- 妊娠中やその可能性がある
- 現在、子宮疾患で治療中または経過観察中

熱中症に注意!

☎消防本部警防課 ☎74-5895

熱中症は、室温や気温が高い中で、体内の水分や塩分(ナトリウム)などのバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなることで、さまざまな症状を引き起こします。家の中でじっとしていても室温や湿度が高いと、体から熱が逃げにくく、熱中症になる場合があります。注意しましょう。

■令和4年は57人が熱中症で搬送

市内では、57人が熱中症で救急搬送されました。5～8月の救急搬送件数は56人で、全体の約98%でした。

■65歳以上の方は特に注意が必要

57人の内、65歳以上の方は34人と、全体の約60%を占めています。高齢者は温度に対する感覚が鈍くなるため、熱中症にかかりやすくなります。室内では特に、注意が必要です。

■暑さを避けこまめな水分補給を

屋内でも気温や湿度が高い日は、適度に扇風機やエアコンを使用して暑さを避けましょう。また、小まめに水分を取ることが大切です。日頃から栄養バランスの良い食事と、体づくりを心掛けて熱中症を予防しましょう。